

RMAN 実行ジョブの結果確認

- ・アラート・ログ
- ・RMAN 実行におけるログ出力方法
- ・動的ビューへの問合せ

RMAN によるバックアップ処理の終了（正常／異常）確認は、以下の 3 つの方法で確認が取れる

・アラート・ログ

Oracle システム全体のシステム・メッセージが書き込まれる場所に、エラー内容（RMAN-*****、ORA-*****）が出力される
アラート内容確認の表示方法には、OEM画面などを使う

・RMAN 実行におけるログ出力方法

RMAN 起動時や RMAN スクリプト開始時に、出力ログファイルを指定する
起動時指定

```
$ rman target ユーザー/パスワード log=/logdir/rman.log
```

注意)

結果は、ログファイルに出力されるが、画面表示が無くなる

RMAN スクリプト内での指定

```
$ rman target ユーザー名/パスワード @スクリプト名.rcv  
log=ログファイル名.log
```

・バックアップ処理の実行結果の確認方法（RMAN を含む）

V\$RMAN_BACKUP_JOB_DETAILS ビューへの問合せ

```
alter session set NLS_DATE_FORMAT = 'yyyy/mm/dd hh24:mi:ss';  
  
select START_TIME, END_TIME, INPUT_TYPE, STATUS  
from V$RMAN_BACKUP_JOB_DETAILS  
order by START_TIME ;
```

START_TIME	END_TIME	INPUT_TYPE	STATUS
11/10/01 12:10:00	11/10/01 14:35:00	DB FULL	SUCCEED
11/10/15 14:40:00	11/10/15 14:50:00	SPFILE	FAILED

成功
失敗